

報道機関各位

## 第 16 回 2006 年度新入社員 半年間の意識変化調査（要旨）

財団法人 社会経済生産性本部

拝 啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より当本部の諸活動につきまして、格別のご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当本部では、新入社員入社後半年間の意識変化の調査を目的に、「若者意識アンケート・秋編」を実施し、集計分析を致しました。当調査は、1991年より、継続的に行っているものです。

つきましては、本調査の要旨をお届け致しますので、次世代を担う若手従業員についての情報として、ご活用いただければ幸いに存じます。

敬 具

- (1) 「各人の業績や能力が大きく影響する給与システム」を望む回答は6割以上の多数を占めるものの、調査以来、春秋を通じて過去最低の水準となった。
- (2) 「条件が良い会社があれば、さっさと移るほうが得だ」とする回答が4割を切る過去最低の水準となった。
- (3) 転職に関する設問で、「今の会社に一生勤めようと思っている」とする回答が増加し、過去10年で最高の水準になった。
- (4) 「将来への自分のキャリアプランを考える上では、社内で出世するより、自分で起業して独立したい」とする回答が減少し、4人に1人の割合になった。
- (5) フリーアルバイターについて否定的な回答が65.4%に達し、春同様、過去最高の水準となった。

【お問合せ先】 財団法人 社会経済生産性本部 経営革新部  
担当：高橋 TEL. 03-3409-1119 FAX. 03-5485-7750

◆**調査方法**：

- (1) 調査対象：2006年春、秋に実施した経営革新部主催の新入社員教育プログラム等への参加者
- (2) 有効回答数：1,290通（回収率66.1%）

◆**添付書類**：

- 本調査結果要旨（5枚）** →本年度の主だった調査結果をまとめております。
- 集計表（6枚）** →全ての設問のデータを掲載しております。
- 属性（1枚）** →調査対象者の属性（性別、年齢、など）を掲載しております。計12枚

**（注）アンケートの変更について**

今回の調査では、アンケートの質問文や選択肢を以下の通り、変更しておりますので、ご参照下さい。

(1) **倫理に関する設問**

「上司から、会社のためにはなるが、自分の良心に反する手段で仕事を進めるように指示されました。このときあなたはどうしますか？」という設問に対する選択肢を下記の通り変更しております。

(変更前)

- 1：あまりやりたくないが、指示の通り行動する
- 2：できる限り避ける
- 3：わからない



(変更後)

- 1：指示の通り行動する
- 2：指示に従わない
- 3：わからない

(2) **職場に関する設問**

「会社の運動会などの親睦行事は、できれば参加したくない」という設問を下記の通り変更しております。

(変更前)

会社の運動会などの親睦行事には、できれば参加したくない



(変更後)

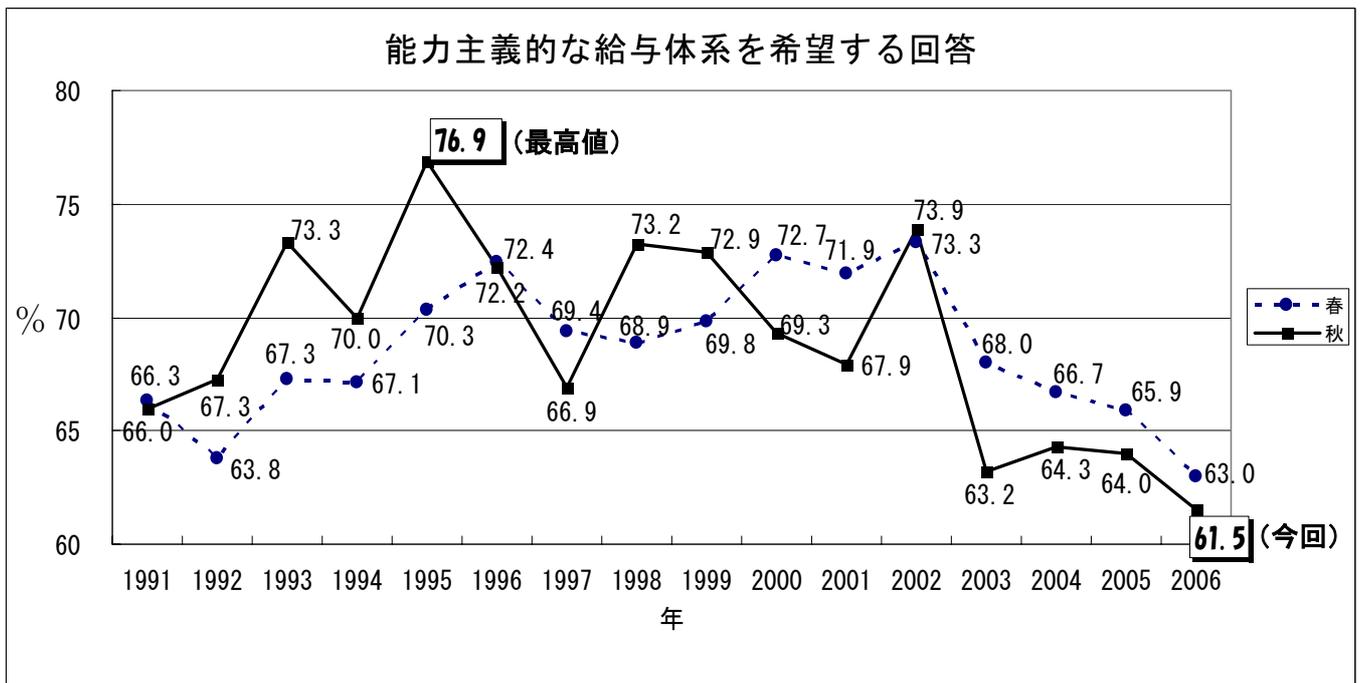
会社の運動会などの親睦行事には、参加したくない

# 第16回 2006年度 新入社員 半年間の意識変化調査 要旨

※ 調査結果の詳細データは添付の「集計表」をご覧ください。

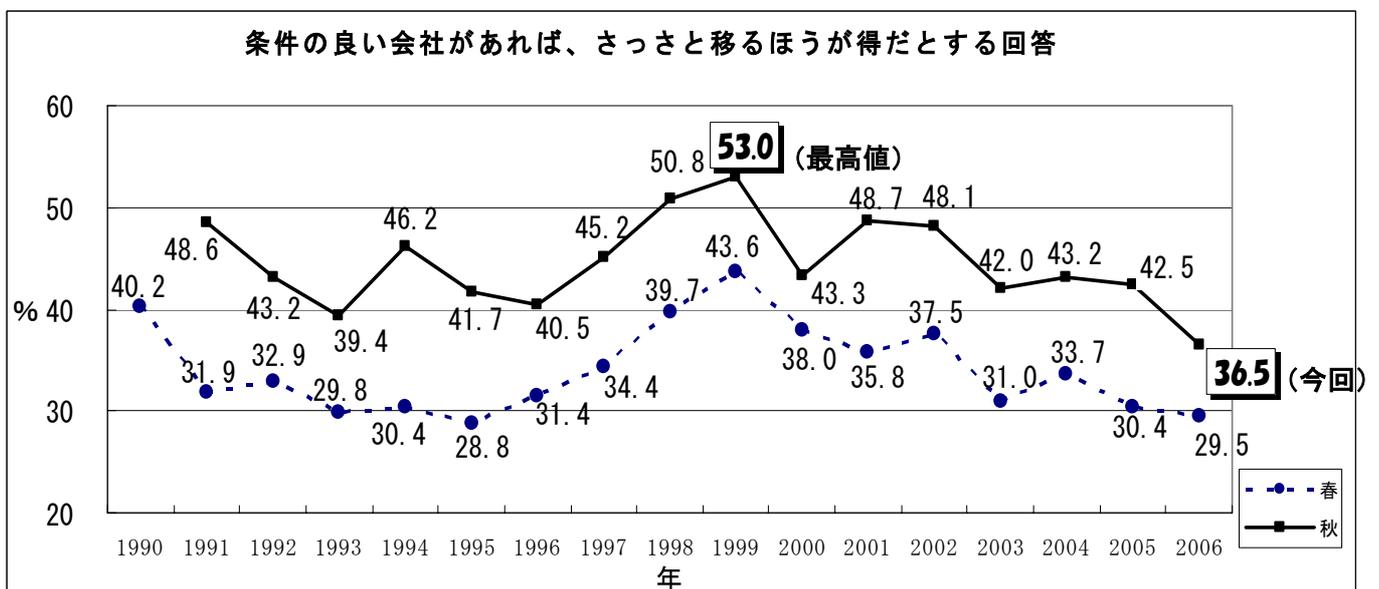
- (1) 「各人の業績や能力が大きく影響する給与システム」を望む回答は6割以上の多数を占めるものの、調査以来、春秋を通じて過去最低の水準（61.5%）となった。（秋の最高値：1995年 76.9%）

→ 61.5%（2006春比-1.5ポイント、2005秋比-2.5ポイント、2004秋比-2.8ポイント）（P2 Q5(c)）



- (2) 「条件が良い会社があれば、さっさと移るほうが得だ」とする回答が4割を切る過去最低の水準（36.5%）となった。

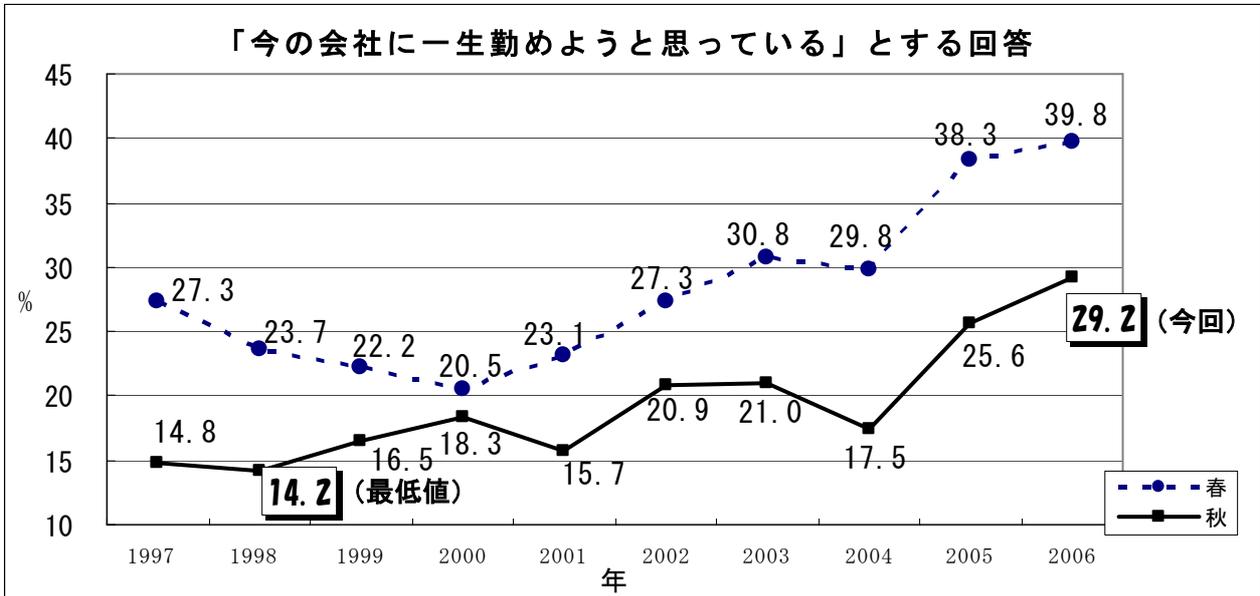
→ 36.5%（2006春比+7.0ポイント、2005秋比-6.0ポイント、2004秋比-6.7ポイント）（P4 Q6(e)）



- (3) 転職に関する設問で、「今の会社に一生勤めようと思っている」とする回答が増加し、過去10年で最高の水準(29.2%)になった。  
(過去10年の秋の最低値:1998年14.2%)

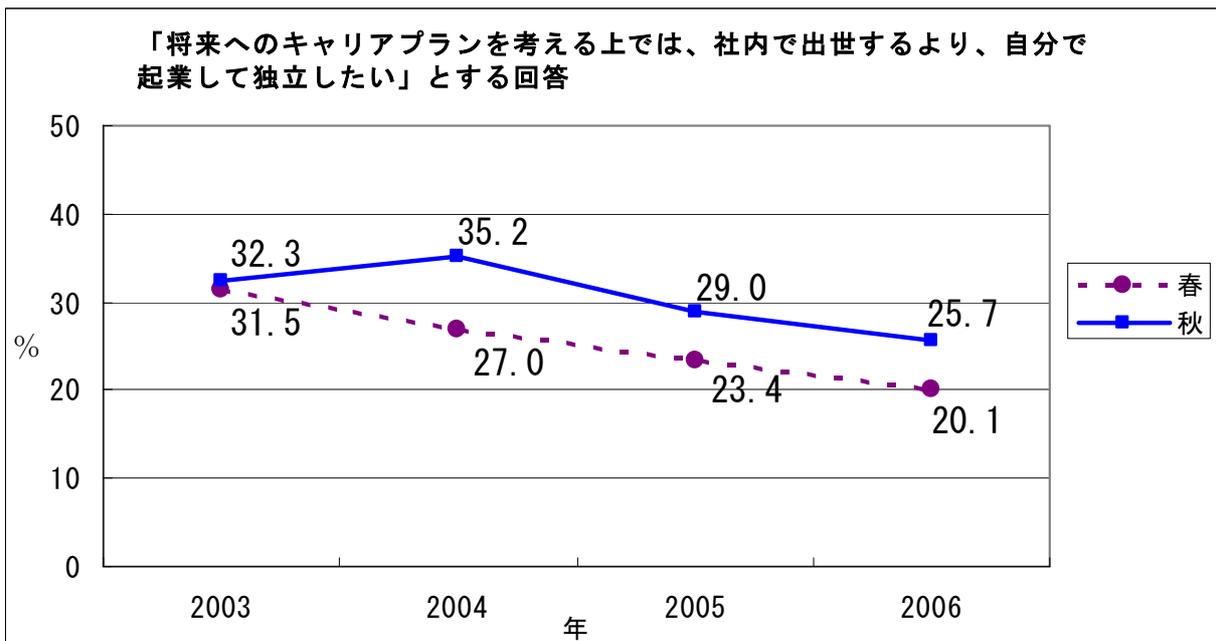
「今の会社に一生勤めようと思っている」とする回答

→29.2%(2006春比-10.6ポイント、2005秋比+3.6ポイント、2004秋比+11.7ポイント)(P6 Q8(d))



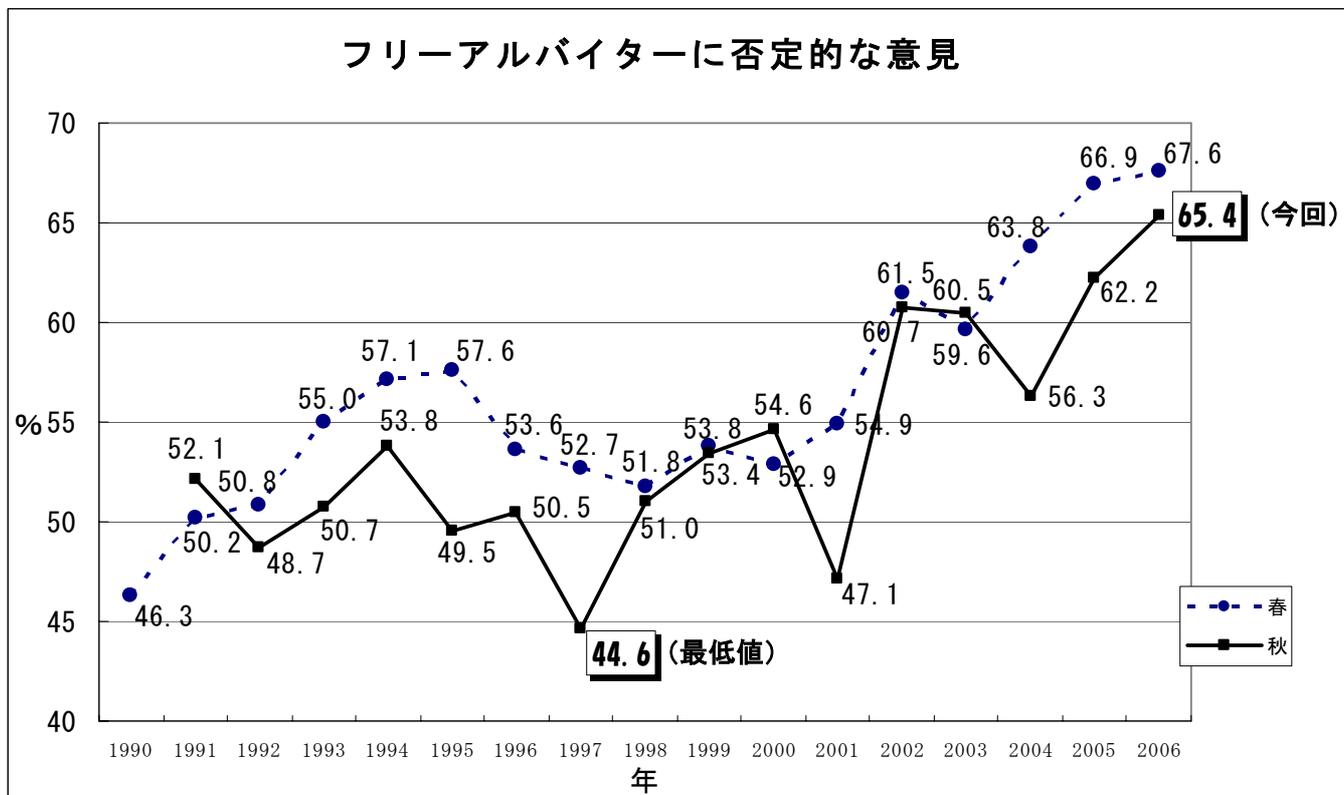
- (4) 「将来への自分のキャリアプランを考える上では、社内で出世するより、自分で起業して独立したい」とする回答が減少し、4人に1人の割合(25.7%)になった。

→25.7%(2006春比+5.6ポイント、2005秋比-3.3ポイント、2004秋比-9.5ポイント)(P4 Q6(i))



(5) フリーライターについて否定的な回答が65.4%に達し、春同様、過去最高の水準となった。(秋の最低値：1997年 44.6%)

「若いうちならフリーライターの生活を送るのも悪くない」とは思わないとする回答  
 →65.4% (2006春比-2.2ポイント、2005秋比+3.2ポイント、2004秋比+9.1ポイント) (P3 Q6(d))



以上